

米国ライフサイエンス・オンラインセミナー2022

～米国バイオテック産業のダイナミズムと市場参入へのヒント～

米国は世界最大の医薬品市場であり、膨大なベンチャーキャピタル資金などがバイオテック産業に投下されています。そこで、米国のライフサイエンス市場への参入を目指す市内企業等に向けて、米国のバイオテック産業のダイナミズムや米国各地のバイオテック・コミュニティの特徴などについて3回シリーズでオンラインセミナーを開催します。

参加費無料

プログラム

第1回「日本のヘルスケア産業の将来：成長への選択肢～米国バイオファーマから学ぶもの～」	
日時	6月1日（水）10：00～11：00（日本時間）
講師	元バイエル薬品取締役会長 栄木 憲和 氏
申込み	https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_3DHsAbc1Sk2yNOHcUtUXbg
第2回「米国の地域バイオテック・コミュニティの特徴を知る」	
日時	6月8日（水）10：00～11：00（日本時間）
講師	横浜市立大学カリフォルニアオフィス Grace Hiroko Yamazaki, PhD.
申込み	https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_-Z-InKOTQRakfRwm0iZFtA
第3回「米国との国際産学連携の基本と実践へのヒント」	
日時	6月22日（水）10：00～11：00（日本時間）
講師	横浜市立大学カリフォルニアオフィス Grace Hiroko Yamazaki, PhD.
申込み	https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_os6M1EkMQ3WCpdwSVqaAMQ

申込方法

- ・参加費無料。上記各回の申込み URL からお申込みください。
- ・各回、当日まで申込み可能です。
- ・参加の流れ及び注意事項は、下記ウェブサイトからご確認ください。
<https://businessyokohama.com/jp/2022/05/10/na-lifescience-online-seminar-2022/>

実施主体・開催方法

- 主催**：横浜市
共催：公益財団法人 木原記念横浜生命科学振興財団（木原財団）
協力：公益財団法人 横浜企業経営支援財団（IDEC 横浜）
 ジェトロ横浜
対象：米国市場に関心のある市内企業等
形式：オンライン（Zoom ウェビナー）



【裏面あり】

お問合せ先
「セミナーに関すること」経済局国際ビジネス課長 森井 藍子 Tel：045-671-2576
「横浜市のライフサイエンス関連施策に関すること」経済局産業連携推進課 担当課長 松本 圭市 Tel：045-671-3591
「米州事務所に関すること」国際局国際連携課 欧州米州担当課長 江成 政義 Tel：045-671-4721

※本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。

第1回「日本のヘルスケア産業の将来：成長への選択肢～米国バイオファーマから学ぶもの～」

プログラム：講演：元バイエル薬品取締役会長 柴木 憲和 氏（45分）

質疑応答（10分）

概要：米国は世界最大の医薬品市場であり、膨大な研究開発費やベンチャーキャピタル資金がバイオテック産業に投下されています。そして米国は、新型コロナウイルスワクチンの開発を1年で成功させました。そこで、元バイエル薬品会長の柴木憲和氏から、米国バイオテック産業の動向と日米比較、そして日本のバイオテックが米国で成長する要件を解説いただきます。

講師プロフィール：1979年日本チバガイギー株式会社に入社。1994年バイエル薬品に入社後、1997年よりバイエル薬品取締役、滋賀工場長に就任。2002年より2006年まで同社代表取締役社長、2007年より2014年まで同社代表取締役・取締役会長。その間、日本製薬工業協会理事、財団法人日本心臓財団理事、大阪医薬品協会理事、日本PDA理事、ISPE国際メンバーなどを務める。2014年にバイエル薬品を退任後、米国NJに移住。ニューヨークコンサルティングABPSグループに所属し、現在に至る。



第2回「米国の地域バイオテック・コミュニティの特徴を知る」

プログラム：講演：Grace Hiroko Yamazaki, PhD.（40分）

コメント（横浜のバイオベンチャーコミュニティについて）：木原財団（5分）

質疑応答（10分）

概要：米国には、横浜市のみならずサンディエゴをはじめ、サンフランシスコやボストンなど、各地に世界を代表するバイオテック・コミュニティが形成され、それぞれ異なる特徴を有しています。そこで、横浜市立大学カリフォルニアオフィスの山崎所長から、米国各地のバイオテック・コミュニティの特徴について、網羅的に解説いただきます。

講師プロフィール：（Professional Appointment）1995年東京大学医学部第三基礎医学博士課程修了、1996-1999年シンシナティ大学医学部分子免疫学ポスドク、1999-2001年ミシガン大学医学部内科学ポスドク、2001-2003年BD Bioscience、2004-2012年丸紅アメリカ、2004-2008年Kinetech Diagnostics、2012-2015年JSR Micro Inc. 2016-2019年シスメックス・アメリカ アメリカR&Dセンター、2019年-現在シスメックスR&Dセンターシニアダイレクター（Academia）2000-2001年横浜市立大学医学部解剖学助手、2007年-現在横浜市立大学カリフォルニアオフィス所長、2009年-現在横浜市立大学医学部免疫学教室客員教授



第3回「米国との国際産学連携の基本と実践へのヒント」

プログラム：講演：Grace Hiroko Yamazaki, PhD.（45分）

質疑応答（10分）

概要：米国への事業シーズの持ち込み、米国の大学・研究機関との共同研究、米国でのグラント獲得など、米国との産学連携は米国でのビジネス成功の手段になり得ます。そこで、横浜市立大学カリフォルニアオフィスの山崎所長から、事例紹介も含め、国際産学連携の基本と実践へのヒントを解説いただきます。

横浜市米州事務所について

横浜市が、平成30年11月にアメリカ合衆国ニューヨークに開設した海外事務所では、企業誘致や市内企業のビジネス支援、観光などのプロモーション、大学交流の推進などを行っています。今回のセミナーは、米州事務所のネットワークを生かし、専門家から米国市場に参入を目指すうえでのポイント等について紹介するものです。